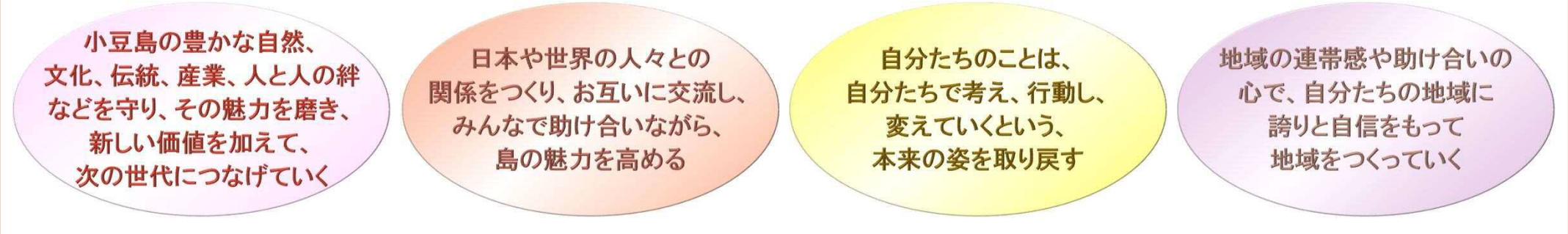


小豆島町の人口ビジョンと総合戦略 【改定版】

小豆島町の人口ビジョンと総合戦略 2015～2019（改定版）

【 小豆島を21世紀の日本と世界の「希望の島」に 】

【 基 本 理 念 】



人口ビジョン

- ❖ 今後とも移住者100人(うち50人が定住)が持続し、国の長期ビジョンと同様の合計特殊出生率(2040年に2.07、出生者80人～85人)を達成した場合、2060年の人口は、約1万人(社人研推計約6千人)になる。
- ❖ 高齢化率においても、37.7%(社人研推計49.5%)となり、バランスのとれた人口構成に向かっていく。

総 合 戦 略

基本目標



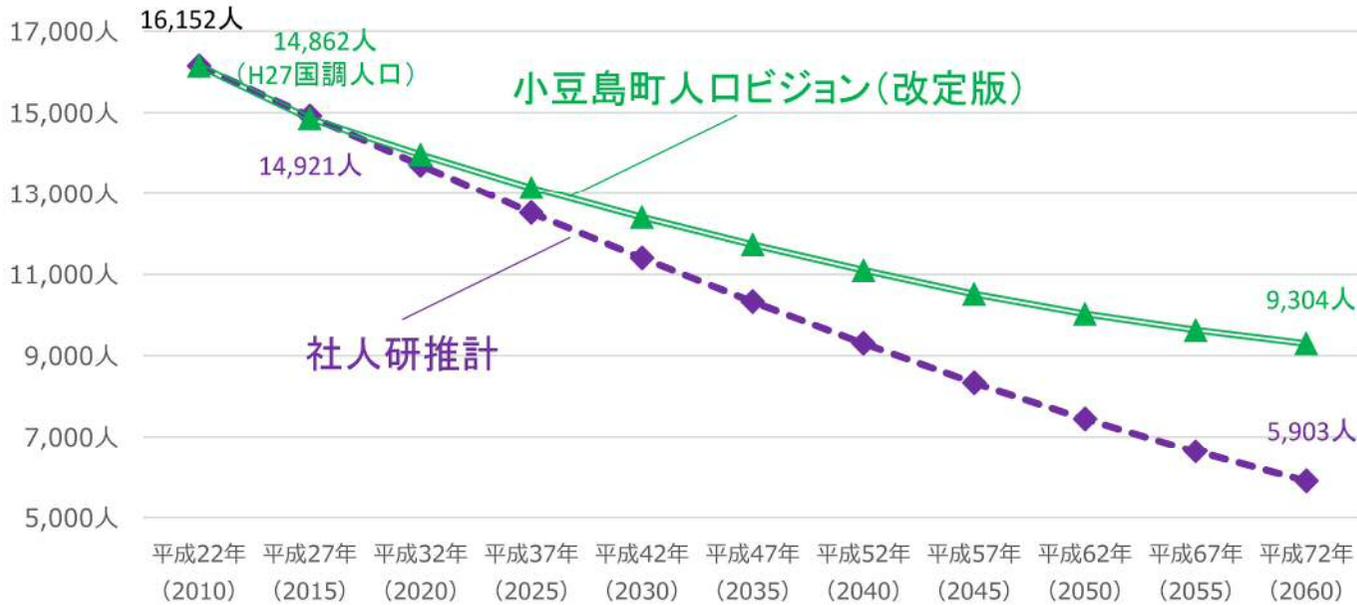
小豆島の基盤をつくる施策



基本施策



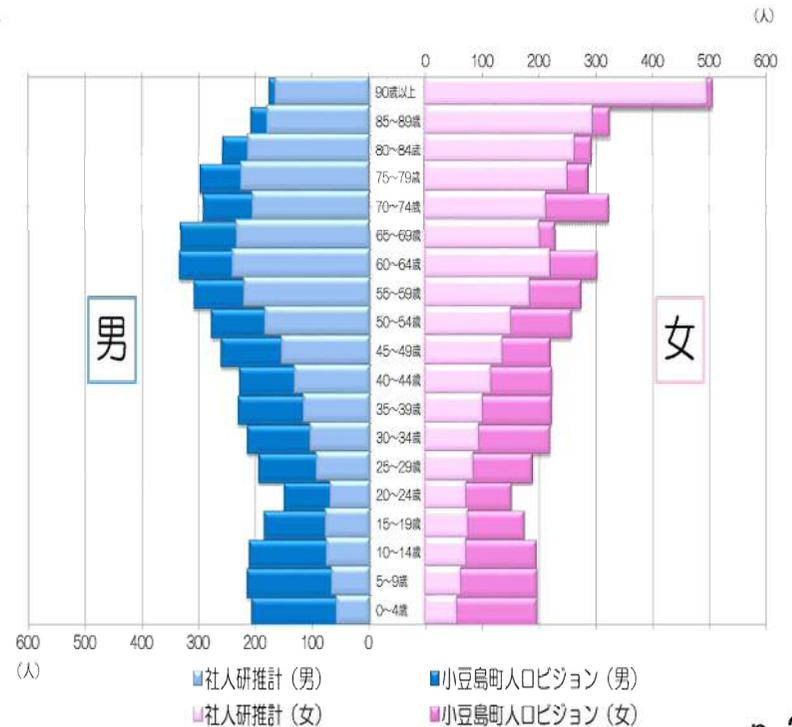
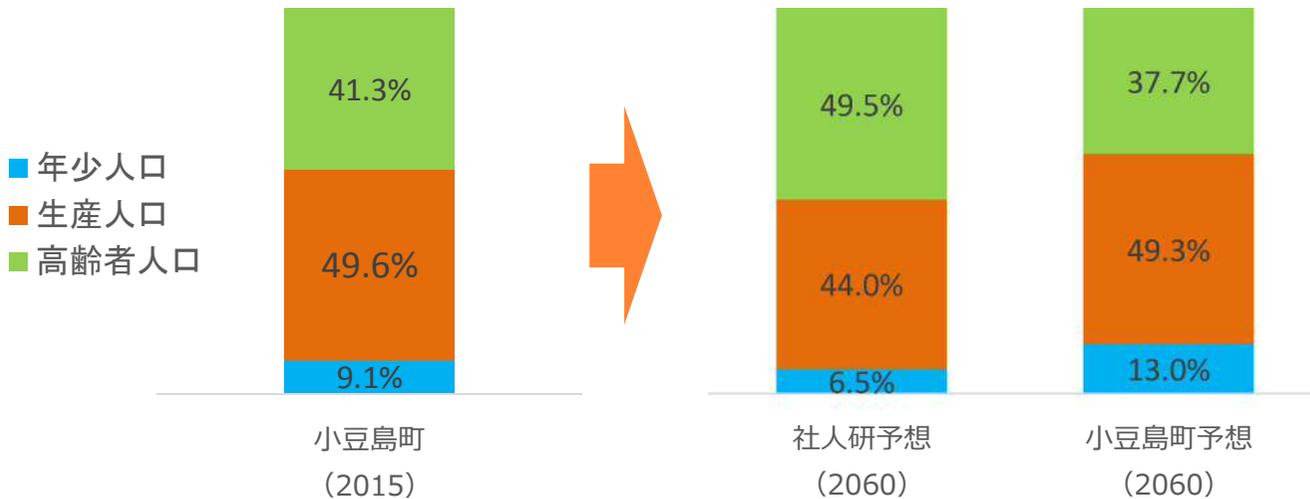
小豆島町の人口ビジョンについて（改定版） ①



小豆島町人口ビジョン条件

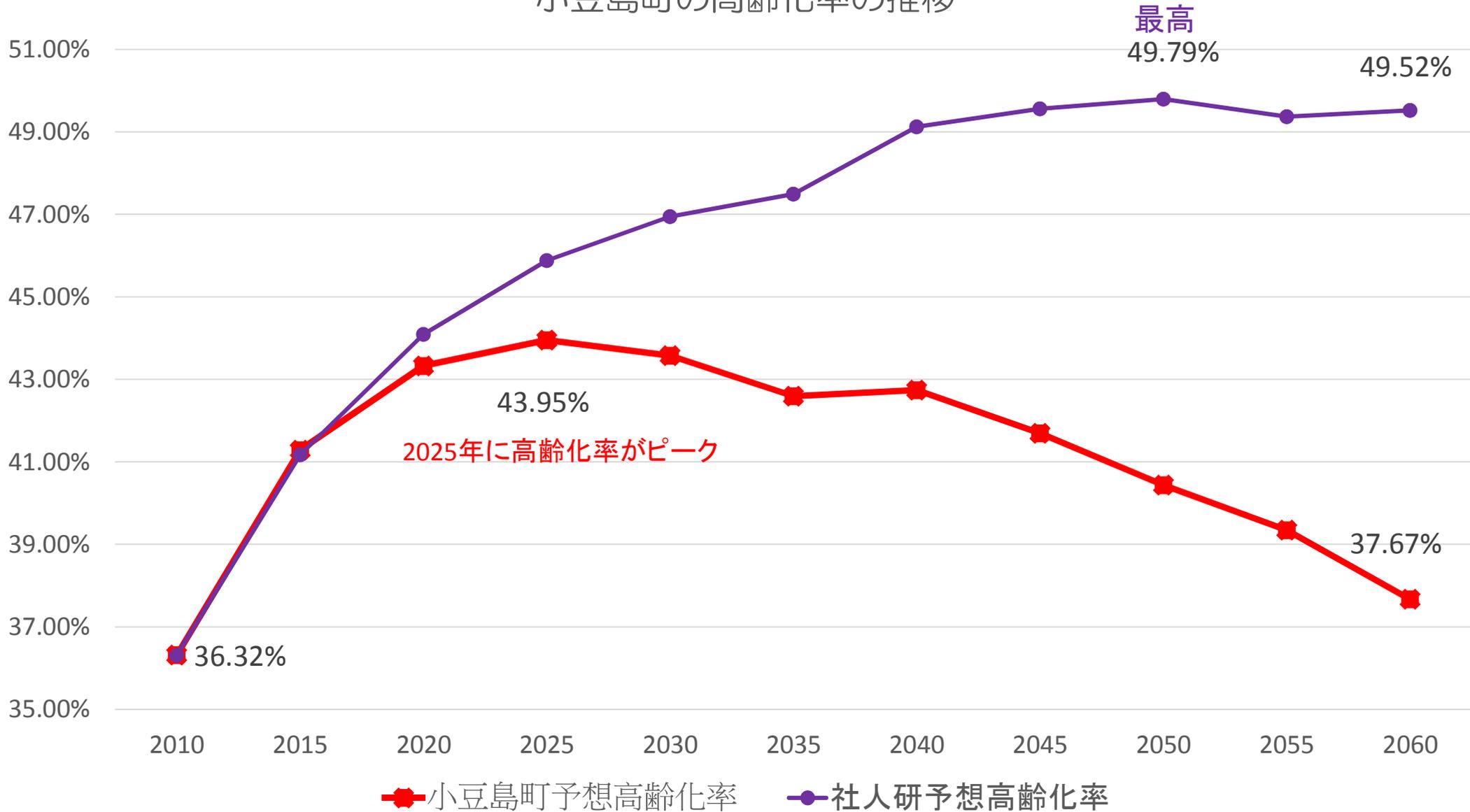
- 移動・・・社人研推計と同様の「移動率」、さらに2020年からは、ここ最近の状況から年間100人の移住者のうち50%が定住すると見込む
- 出生・・・国の「長期ビジョン」と同様の合計特殊出生率での出生(約80~85人)を見込む
- 死亡・・・社人研推計と同様の「生存率」を見込む

3区分別の人口割合の変化



小豆島町の人口ビジョン【高齢化率の推移】（改定版）②

小豆島町の高齢化率の推移



❖ 今後とも移住者100人（うち50人が定住）が持続し、
国と長期ビジョンと同様の合計特殊出生率（2040年に2.07、出生者80人～85人）を
達成した場合、2060年の人口は、**約1万人**（社人研推計：約6千人）になる。

・ **2060年に約1万人の人口を維持**
（社人研推計の約1.58倍）

❖ 高齢化率においても、37.7%（社人研推計49.5%）となり、バランスのとれた人口
構成に向かっていく。

・ 年少人口割合	社人研推計	6.5%	→	人口ビジョン	13.0%
・ 生産年齢人口割合	社人研推計	44.0%	→	人口ビジョン	49.3%
・ 高齢者人口割合	社人研推計	49.5%	→	人口ビジョン	37.7%

コミュニティ・レベルからの地方創生を目指して

人口ビジョン

小豆島町
全体

総合戦略

例

地区・地域ごとに（旧小学校区のイメージ）

旧小学校区などの地域ごとに、
それぞれの地域が主体的、自主的に目標の設定と取組み

小規模
多機能
施設

高齢者・
障害者福祉
健康づくり

子育て

地場産業

商店

文化・
アート

公民館

有害鳥獣

消防団

学校
(廃校含む)

人口に占める島回帰（移住者100人）の持続を目指して（改定版）

趣 旨

移住者は、
レストランや農業、
オーリースやアートなど、
小豆島の魅力を高める
担い手

英会話教室や絵画教室、
自然遊びなど、
日本一の子育ちプランの
実践に多様な人財が必要

地域の人と移住者が
交流し、お互いに切磋琢磨
することで、化学反応が
起こり、地域の魅力が向上

外の視線で
島をみつめ、人と人、
地域と地域をつなぎ、
絆や助け合いの心を育む
地域みがきを実現

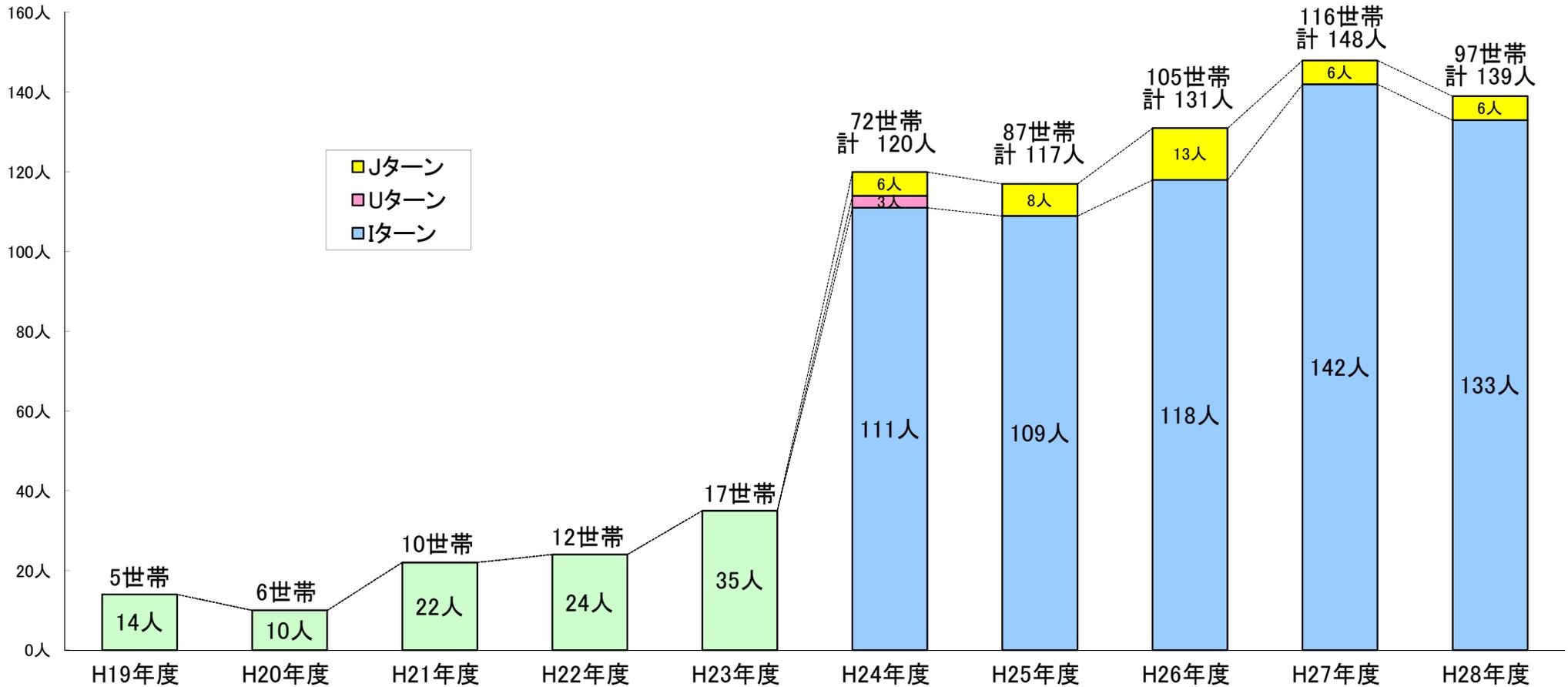
総合戦略

- 小豆島中央病院を核とした地域包括ケアの推進
- すくすく子育て応援アクションプランの実践
- 地域資源を活かした食の地場産業の活性化
- 瀬戸内国際芸術祭の取組み

移住戦略

- 多様な人財や能力を呼び込むNPO法人の活躍
- 心をつなぐ移住相談窓口の設置
- 空き家の有効活用に向けたバンクの充実
- 交流人口の拡大を目指す体験施設の運用

小豆島町移住者数の推移(年度別)



小豆島で活躍する移住者の皆さん（改定版）

ジェラートで小豆島の旬の実りを発信 市川雅史、愛美さん



旬の食材を活かしたジェラートを提供

- (東京都出身/H27. 11移住)
【経歴・活動状況等】
- ・夫婦ともに東京でホテルマンを経験後、小豆島町に移住
 - ・イタリアでの研修を経て、平成28年3月「FURYU」経営者の渋谷氏と「Minori gelato」をオープン
 - ※瀬戸芸2016食プロジェクト参加
 - ・最新のジェラートマシンで、ジェラート自体をアート作品としてデザイン

地元の新鮮な素材を活かして 渋谷 信人さん



食を通じた地域住民との交流イベント

- (山形県出身/H23. 6移住)
【経歴・活動状況等】
- ・東京六本木、兵庫県西宮のイタリアンレストランで修業後、小豆島町に移住
 - ・H23年8月にイタリアンレストラン「FURYU」をオープン
 - ・H28年3月に新たに小豆島の旬の食材を使用したジェラートショップをオープン

移住者の知恵とパワーや情熱で
新しい地域おこしの風を！

小豆島×地ビールで、おいしく楽しく 中田雅也さん



- (大阪府出身/H28. 5移住)
【経歴・活動状況等】
- ・大学時代、留学先のアメリカでNYブルックリンビールの味と文化に出逢い、感銘を受ける。
 - ・H27年に、岡山のビール醸造所にて、ビール醸造技術や調理技術を学ぶ。
 - ・小豆島の特産物、農産物を活かし、島の自然や景観を楽しめる地ビール造りをめざし、H29年4月頃のオープンを目指して奮闘中。

野菜づくりは人づくり 谷口 勉さん、園江さん



移住を機にアスパラ栽培を始めたご夫妻

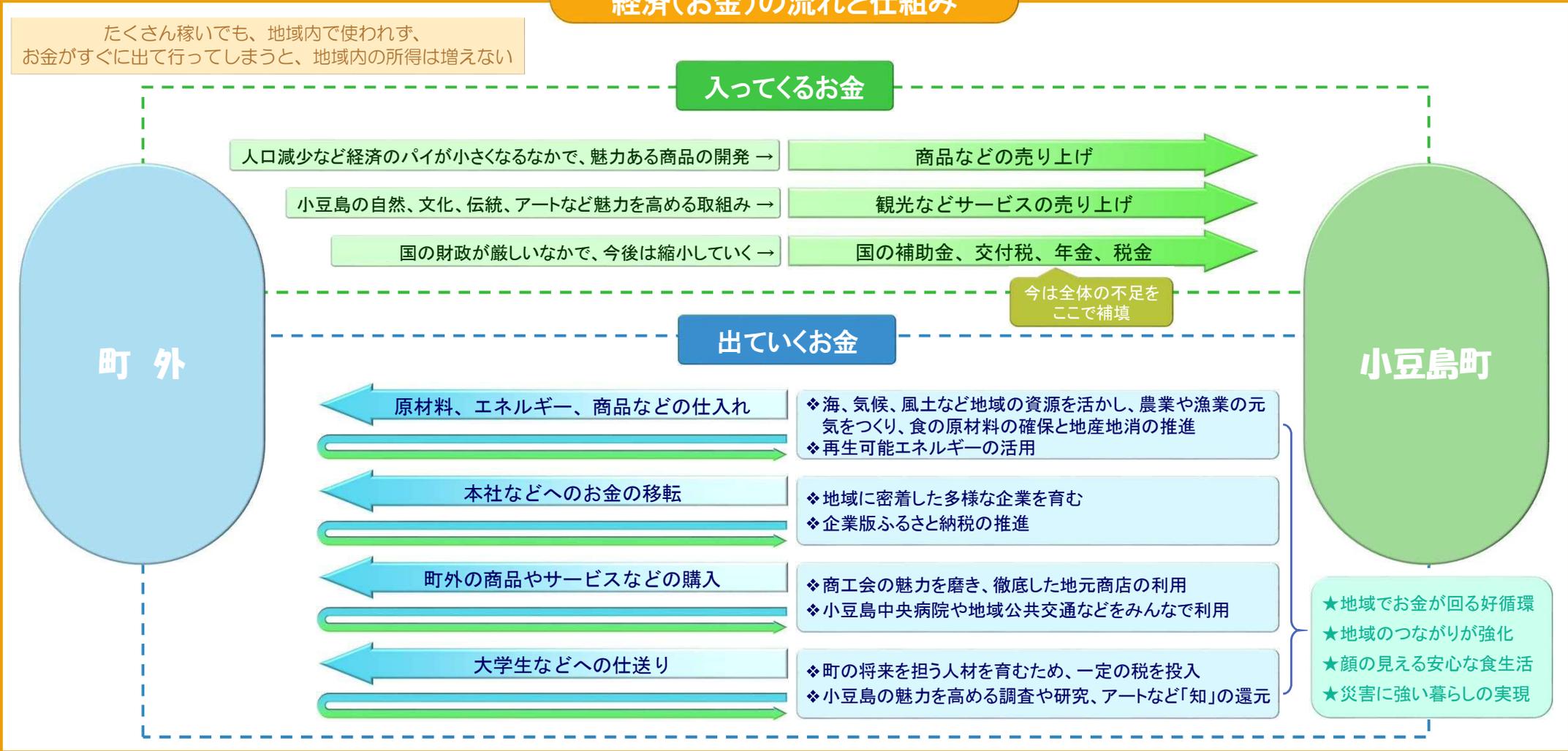
- (愛媛県出身/H17. 11移住)
【経歴・活動状況等】
- ・移住をきっかけにH21年からアスパラの栽培を開始
 - ・H27年に、認定農業者（農業経営の目標に向けて、自らの創意工夫に基づき、経営の改善を進めようとする農業者）に認定
 - ・現在、アスパラを20a栽培、さらなる収穫量増加をめざし、夫婦で奮闘

地域の資源を活かし地域経済の循環を目指す取組みの考え方

～ 地域内でお金を回し、多様なしごとをつくっていく ～

経済(お金)の流れと仕組み

たくさん稼いでも、地域内で使われず、
お金がすぐに出て行ってしまうと、地域内の所得は増えない



小豆島町の総合戦略の「小豆島の基盤をつくる」施策（改定版）

小豆島の基盤をつくる施策【2017～2019】

小豆島中央病院を核とした 地域包括ケアシステム による地域づくり

島に住むすべての人が、つながり、
助け合い、希望をもって暮らせる
地域社会をつくる



人びとの暮らしと 小豆島の発展を支える 公共交通の充実

バスなどの陸上交通やフェリーポート
などの海上交通の充実を目指し、
まちづくりの好循環をつくる

地域の資源を活かした 地場産業や1次産業の 再生と復権

海の幸、山の幸、人の知を活かして
人びとの暮らしの基盤となる
産業の元気を呼び返す

小豆島中央高校を頂点に 土庄町と小豆島町が一体 となった一貫教育の推進

子どもたちや小豆島の未来を築く
新しい教育のあり方を2町が一緒
になってつくる

瀬戸内国際芸術祭をはじめ 文化を大切にする 地域づくり

島内外の交流を深め、人と人、
地域と地域がつながり、絆や連帯感
を高めて、新しい魅力をつくる

小豆島町の総合戦略の基本施策 2015～2019（改定版）

基本施策

【 小豆島を21世紀の日本と世界の「希望の島」に 】

健康づくり

- ❖ 小豆島中央病院を核とした地域包括ケアシステムによる地域づくり
- ❖ 特別支援学校、障がい者支援施設の充実など地域の福祉(ぬくもりと希望の島づくり)をつくる
- ❖ オリーブを用いた健康長寿の島づくりなど健康づくりの推進
- ❖ 国民健康保険の広域化により医療基盤を強化する

子育て・人づくり

- ❖ すくすく子育て応援アクションプランを实践し、日本一の子育ちをめざす
- ❖ 小豆島でしか出来ない幼・保・小・中・高の一貫教育を实践する
- ❖ 新しい教育のあり方を小豆島高校跡地を活用して实现する
- ❖ アート、演劇、音楽などを通して、こどもたちにコミュニケーション能力を身につけさせる
- ❖ 男女共同参画社会を実現する

産業づくり

- ❖ もう一度、醤油・佃煮・素麺など、小豆島の食の地場産業を活性化する
- ❖ 小豆島の農やアート、ITなどと連携した新しい産業をつくる
- ❖ 島の魅力を高め、関係人口(ファン)を増やし、観光産業を活性化する
- ❖ 商工会の魅力を磨き、商店を守る
- ❖ 安心して暮らせるまちの福祉産業をつくる

1次産業の再生と復権

- ❖ オリーブなどの農を、6次産業化にとどまらず、アート、福祉、教育などと連携する
- ❖ 体験型農業を取り入れるなど、オリーブ公園、ふるさと村の魅力を再生する
- ❖ 中山の棚田、安田の郷、池田地区などの豊かな農村環境を守り、鳥獣害対策を推進し、移住者など新規就農者を支援する
- ❖ 瀬戸内海の環境を調査・研究し、漁業の再生に取り組む

文化・アート総合戦略

- ❖ 農村歌舞伎、八十八か所霊場など、小豆島の歴史、芸術文化を大切にするとともに、壺井栄・黒島伝治・壺井繁治再発見プロジェクトを進める
- ❖ 瀬戸内国際芸術祭などにより、外の視点で地域の魅力を見直し、磨いて地域の自信や絆を再生する
- ❖ 日本遺産への認定や文化財指定など貴重な文化に光を当て、地域の誇りを取り戻し、次の世代につなげていく
- ❖ 東瀬戸内文化圏の「石の文化」の「世界遺産化」をめざす

交通の復権

- ❖ 小豆島のバスなどの公共交通の利便性を高めて、まちづくりの好循環をつくる
- ❖ フェリーポートなど、航路を守る取組みを続ける
- ❖ 通学、通院などが安心してできるよう国道などの整備を進める
- ❖ 交通弱者のための移動手段を確保するほか、環境にやさしいエコカー、自転車などを普及する

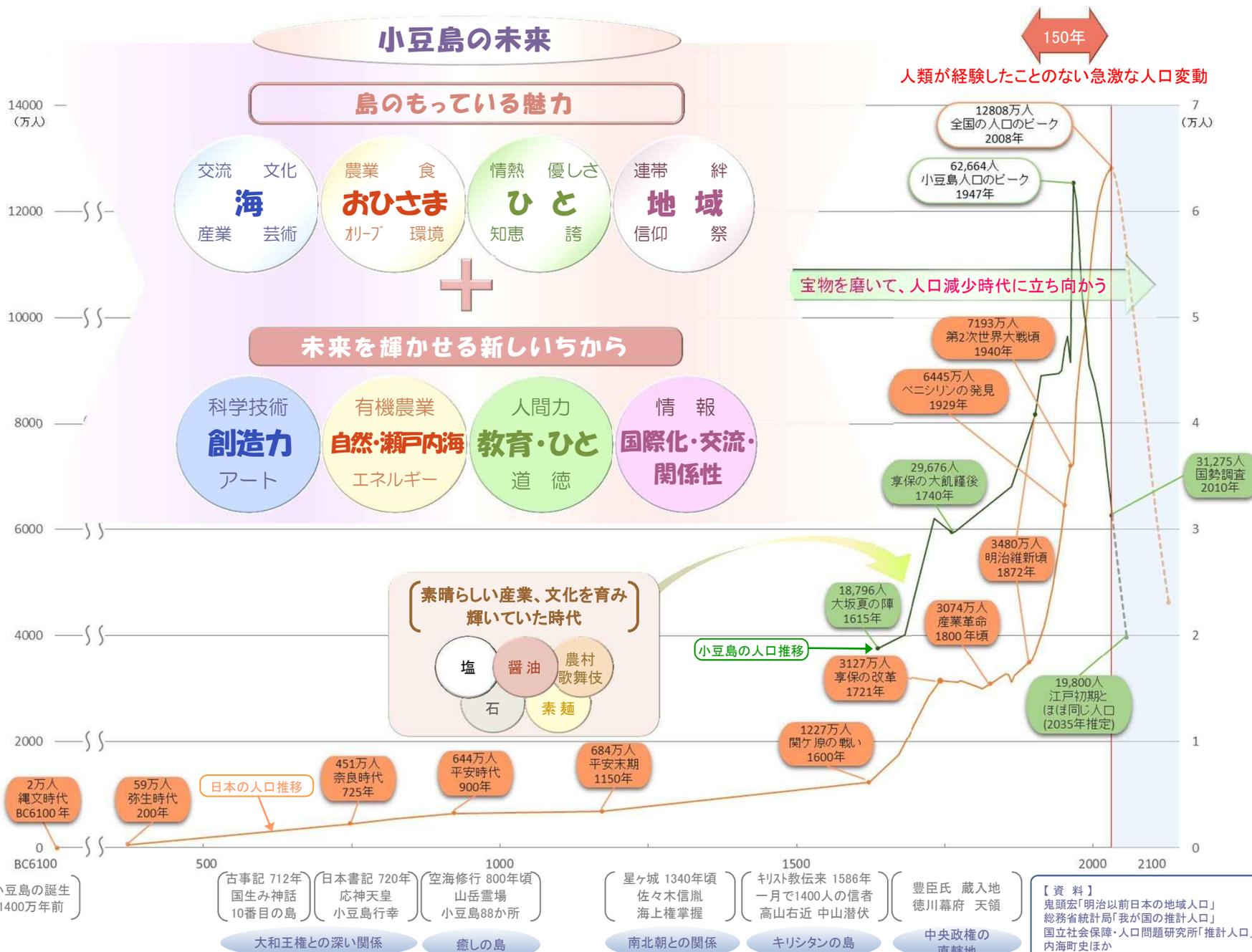
自然・環境

- ❖ 寒霞渓や皇子神社社叢など小豆島の貴重な自然・環境を守るため、島民学習や保存活動を推進する
- ❖ 産官学民が連携し、瀬戸内海の環境の調査・研究を進める
- ❖ 滞在施設への転用やポケットパークの整備など、空き家・空き地の活用を進め、地域環境を再生する
- ❖ ごみの減量化に取り組み、新しい埋立処分地の整備を進める

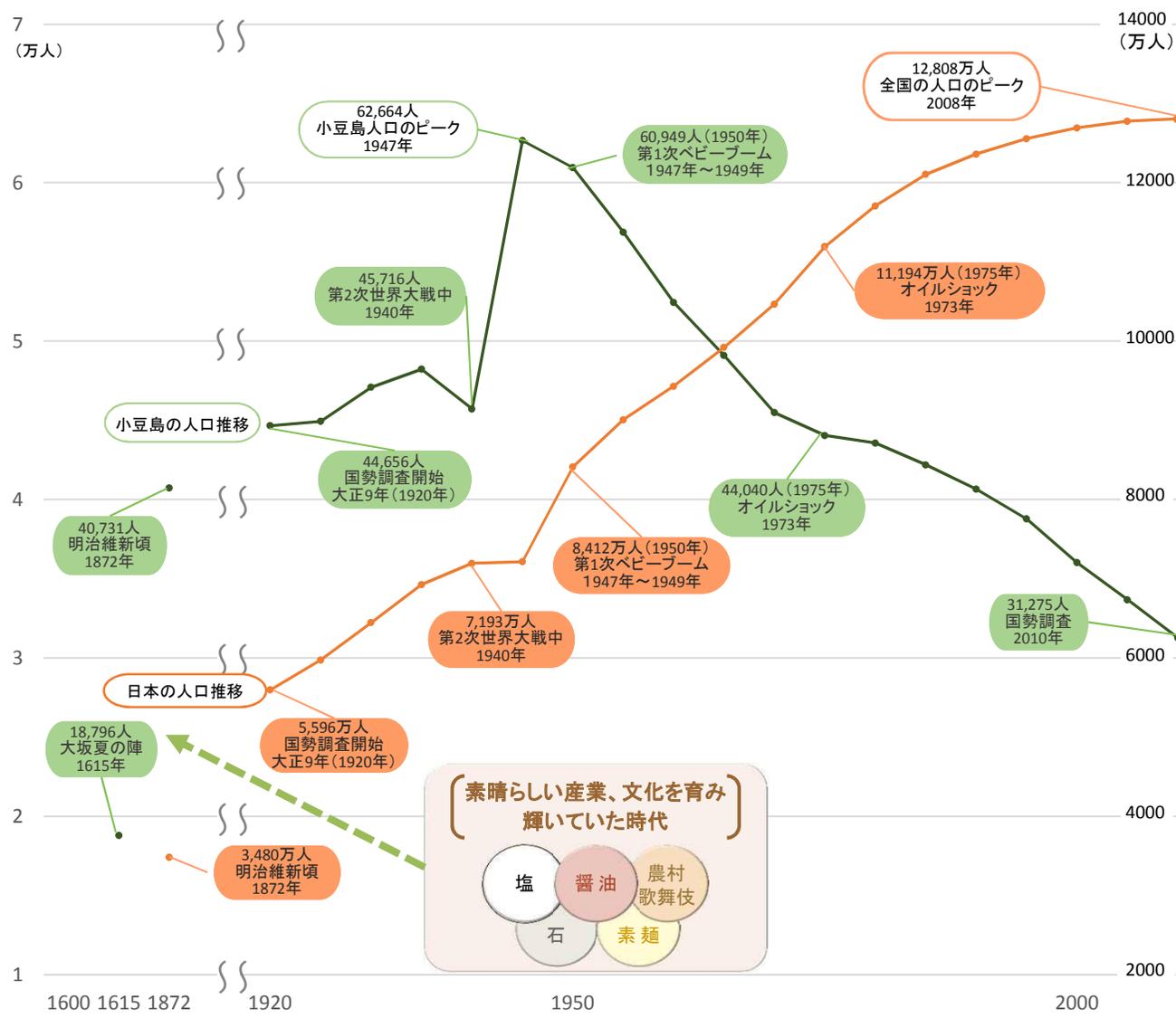
国際交流・移住者

- ❖ 瀬戸内海の島々とのつながりを大切に、瀬戸内海の魅力を日本と世界に発信する
- ❖ 瀬戸内国際芸術祭、そして「福武ハウス」のアジア・アート・プラットフォーム構想を持続して行う
- ❖ 多様な人材や能力を呼び込むため、NPO法人と連携し、移住定住を進める
- ❖ 移住相談窓口の拡充、空き家バンクの充実、体験・交流施設の展開など多様化するニーズに対応する

小豆島と日本の歴史をふりかえり、再び輝く時代へ

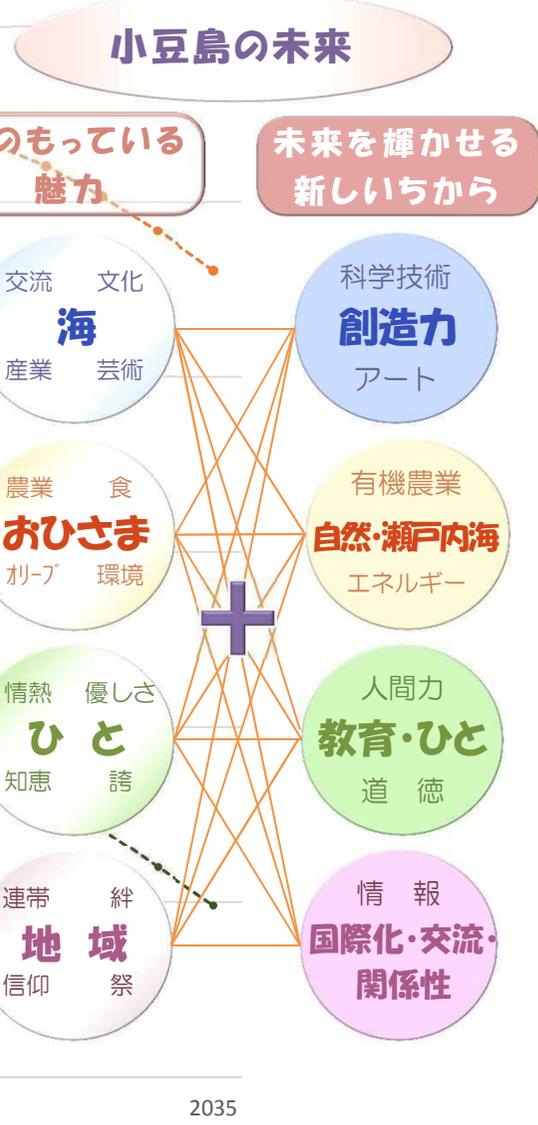


小豆島と日本の歴史をふりかえり、再び輝く時代へ



「素晴らしい産業、文化を育み 輝いていた時代」

- 塩
- 醤油
- 農村歌舞伎
- 石
- 素麺



近世以前の小豆島

- 地球誕生 46億年前
- 小豆島の誕生 1400万年前
- 古事記 712年 国生み神話 10番目の島 **大和王権との深い関係**
- 日本書紀 720年 応神天皇 小豆島行幸 **癒しの島**
- 空海修行 800年頃 山岳霊場 小豆島88か所起源 **南北朝との関係**
- 星ヶ城 1340年頃 佐々木信胤 海上権掌握
- キリスト教伝来 1586年 一月で1400人の信者 高山右近 中山潜伏 **キリシタンの島**
- 豊臣氏 蔵入地 徳川幕府 天領 **中央政権の直轄地**

【資料】
 総務省統計局「我が国の推計人口」
 国立社会保障・人口問題研究所「推計人口」
 内海町史ほか